

氏名	杉原俊弘		
学位の種類	医学博士		
学位授与番号	乙第1630号		
学位授与の日付	昭和61年3月31日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）		
学位論文題目	岡山県における両下肢切断者の実態調査		
論文審査委員	教授 寺本 滋	教授 青山英康	教授 折田薫三

学位論文内容の要旨

岡山県身体障害者更生相談所に登録された42人の両下肢切断者を直接検診して切断者の機能障害、形態異常、能力障害、社会的不利ならびに義足に関する調査研究をした。岡山県では両下肢切断者は下肢切断者の11%であり、60%は労働年齢であった。切断者の69%は外傷によるもので欧米に比し血行障害による切断の発生率は低かった。切断者の87%に断端の skin erosion, sweating を訴え、今後 sweat absorbable ソケットの開発が重要な研究課題と考えた。両大腿義足の場合片側は膝の良い安定性をえるために固定膝もしくは安全膝がほとんどの例に使われていた。6例の高位切断者のうち3例は車椅子のみを使用していた。39例は義足歩行可能であった。義足訓練後切断者の1/3は仕事をもっていなかった。切断者の81%は結婚していた。本研究において就労と結婚の比率は欧米に比し高率であった。これらのことより両下肢切断者のリハビリテーションは、岡山県においては満足すべき状態といえよう。

論文審査の結果の要旨

本研究は、1967年から1983年に岡山県身体障害者更生相談所に登録され、直接検診を行ない得た42例の両下肢切断者についての調査結果を検討したものであり、その実態と生活適応について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。